



つむぐ

No. 27

令和4年3月22日発行 袋井市幼児教育センター

感動体験をし 夢を もちます



避難訓練を通して消防士の仕事を知り、関心を持ちます

袋井の幼児教育で
育成する力

生活習慣	自分のことは自分でできる	(1) 自立心
		(2) 道徳性 規範意識の芽生え
		(3) 健康な心と体
		(4) 社会生活との関わり
学びに向かう力	みんなと頑張れる	(5) 自然との関わり・生命尊重
		(6) 言葉による伝え合い
		(7) 協同性
基礎・思考となる力	考える・やってみる	(8) 思考力の芽生え
		(9) 数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚
		(10) 豊かな感性と表現

様々な活動の中で、心を動かす体験をします

子どもは人やもの、自然と触れ合って遊ぶ中で、「不思議だな」「おもしろいな」と好奇心をもったり、「どうしてかな」と探求心をもって考えたり、工夫したりするなど、心をいっぱい働かせています。

幼児期に様々な活動の中で心を動かす体験を多く重ねることは、子どもの成長にとって必要な経験です。



サッカー教室をきっかけに、サッカー選手へのあこがれを抱きます



お店屋さんごっこから「コックさんになりたい」という思いが膨らむ

経験を通して、あこがれや夢につながる思いを抱きます

園で出会う様々な人やものとのかかわりの中で魅力を感じ、「自分もこうなりたい」「こうしてみたい」という、あこがれや夢につながる思いを抱くようになります。

あこがれや夢への思いが「やってみよう」という意欲につながり、その子なりの目標をもって、主体的に活動するようになります。

こうして子どもは、様々な経験を通して、未来に向かって育っていきます。

本市では、「袋井市就学前教育・幼小接続カリキュラム」に基づき、10の力を育成する教育を行っています。幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)こども園での実践の様子などを紹介しています。

袋井市教育委員会 幼児教育センター 86-5511 幼児教育センターHP <https://fukuroi-education.edumap.jp>

